

平成28年7月21日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標 題	出雲市新規就農者交流会 ～大いに語り、つながり広がる～
-----	-----------------------------

(ダイジェスト)

7月15日、出雲市役所において「出雲市新規就農者交流会」が開催されました。栽培作目を超えて新規就農者が一堂に会する初めての機会となり、日頃の悩みや思いについて大いに語り、つながりを広げるいい機会となりました。

今回の交流会は、「自分と同じ頃に就農した人が、市内のどこで何を栽培されているか知りたい。就農して5年経てば行政機関とのつながりも薄れる。何か機会を作って欲しい。」という、就農3年目の認定新規就農者の強い希望がきっかけになりました。様々な人と積極的にかかわりを持っている人もありますが、多くの新規就農者にとって、栽培作目ごとの交流はあるものの、他の作目を栽培している人と知り合う機会はそう多くありませんでした。

当日は、3グループに分かれてグループ懇談を行い、日頃思っていること、悩んでいることなどを話し合いました。各グループには、管内の指導農業士・青年農業士、認定農業者の3名にアドバイザーとして参加していただき、豊富な経験からの激励や、新規就農者の甘い考えに対する論しなど、的確なアドバイスをいただき、大いに参考になったことと思います。

今回は、ブドウ、野菜、花きなど繁忙期の開催となり、呼びかけ人数に対して1/3を切る参加者数でしたが、参加者からは「忙しい時期だったが、参加して良かった。積極的につながりを持つことが大事だと思った。」との声が聞かれました。また、会の後に場所を変えて開催された懇親会では、会場の電気が消される時間になるまで、大いに盛り上がりました。

初回の交流会は出雲市農業再生協議会の主催でしたが、関係機関では「緩やかなつながりを広げる会」として、徐々に新規就農者が主体的に会を持てるように、支援の仕方を工夫していくことを考えています。



グループ懇談の様子



懇談内容の発表の様子